

「ハトロン州ジョミ県における上水道整備計画」起工式

9月15日、古田恵子大使は、JICA 実施の無償資金協力プロジェクト「ハトロン州ジョミ県における上水道整備計画」（20億9,500万円）の起工式への出席のために、現地を訪れました。

式典では日本側から古田大使に加え JICA 今井成寿所長、タジキスタン側からクルボンゾダ・アミルホン・ハトロン州副知事とドゥスティゾダ・アブドゥルアジズ住宅サービス公社（KMK）副委員長によるスピーチの後、プロジェクト書類を格納したカプセルが埋め込まれました。当館と JICA 事務所、タジキスタン側関係者に加え、コンサルタント「エイト日本技術開発」と「北九州市ウォーターサービス」、建設業者「大日本土木」のプロジェクト関係者も式典に参加しました。



本プロジェクトでは、ジョミ県の5つの地区に深井戸を設置、高架水槽を建設します。

その結果、水へのアクセスが限られている現状から、各家庭で24時間安全な飲料水が供給される状態に改善され、約5万人が裨益します。同時に、メーター設置により従量制を導入することにより、各家庭で無駄水の使用が減ることになり、SDGsにも寄与します。